

## 令和6年度 第2回東区まちづくり懇話会議事録（要旨）

### 1 開催日時

令和6年（2024年）10月3日（木） 午前10時

### 2 場 所

秋津公民館ホール

### 3 出席委員（順不同）

西森、宮部、濱部、平野、中村、小杉、西山、西原

### 4 次 第

令和7年度（2025年度）まちづくり推進事業（案）について

## 議事発言要旨

### ◆ 会 長

議事を進める。

議事（イ）「令和7年度東区まちづくり推進事業」説明をお願いします。

### ● 事務局

資料（令和7年度 東区まちづくり推進事業（案））に沿って、来年度の事業案について事務局から説明。

### ◆ 会 長

事務局からの説明に対し、委員からご意見、ご提案はないか。

### ◎ 委 員

全ての事業に関わる話だが、事業計画を周知し、また、すでに事業を実施している他の団体（地域）と連携するなど、アンテナを張って東区の取組をより広げていけるのではないかと思う。

例えば、美化活動との関係では、二岡中学校では、中学校の協力を得て、生徒会が中心となり、中学生がごみ拾いをして登校する取組を行っている。

また、託麻三山に関連し、花とみどり協働課と一緒に事業を行う。そして、託麻新四国八十八ヶ所が再来年で100周年を迎え、7月にイベントを予定している。そういう取組を積極的に取り上げてもらいたい。

### ● 事務局

意見の聴取の仕方として、昨年度から、区長が地域に出掛けて意見を聴くという事業を始めている。

託麻三山の話についても、自治協との意見交換の中で話が出て、東区のまちセン単位で情報共有をし、できることを協力していこうという話をしたところ。

小さな子どものいる母親などから意見聴取をしているが、まだ手探りのところもあるため、このような機会を広げていき、東区の事業としてつなげていきたい。

また、区長会やまちづくりセンター所長など、横のつながりの場において、好事例などの情報共有をやっていきたい。

### ◎ 委 員

あさひばりリビングは、コミュニティスペースとして非常によく活用されていると思うが、2点お尋ねがある。1点は、このスペースでフリーWi-Fiを導入する予定が

あるのか、もう1点は、Instagramで区が情報発信しているのはよいが、若者まちづくりリーダーズ事業など、小中高生と協働する事業がある中で、Instagramを登録するよう呼びかけることはしているのかを教えてください。Instagramについては、別の事業とリンクしながらInstagramを活用していくと、フォロワー数が増加し、よい情報発信になると思うが、どうか。

● 事務局

1点目について、あさひばりリビングについては、くまもとフリーWi-Fiが対応している。公民館講座で使用する場合はパスワードをお渡し、公民館の中で使用していただけるフリーWi-Fiを用意している。

2点目について、あさひばりリビング等の講座の周知に関しては、熊本市公式LINE、Facebookのほか、チラシでお知らせしている。

あさひばりリビングは定員が少人数ということもあり、申込みが圧倒的に多いのは、LINEを見たという方で、あっという間に埋まっている。告知を朝の9時ころに流すと、1時間程度で定員が埋まり、キャンセル待ちになる。

◎ 委員

若者まちづくりリーダーズ事業は、高校生や大学生のスキルが上がり、よい取組だと思うが、全員が東区内に在住しているわけではないと思うので、区内での地域の醸成が必要である。小学校の高学年や中学生の1・2年生を交えて話す場を設け、大学生も授業の一環として参加してもらうなど、こういった連携ができてくるとよいと思う。区長賞を活用するなどし、まちづくりのイノベーションを起こすためのプレゼンテーション大会でもやってみてはどうか。東区の活性化やニーズの拾い出しをして、健軍商店街などで実践の場としていく。こどもたちにとっても、区にとってもよいことだと思う。

◎ 委員

まちづくり推進事業の取組によりよくなった点が多々あるが、地域力パワーアップ大作戦が東部まちセンで始まり、まちづくりの第一歩として、地域と企業とのつながりが取り上げられたことを感謝したい。

健軍商店街の若者の方々が活性化を担いながら、地域のため一生懸命動かれ、イベントも増えてきている。健軍商店街に光が見えてきたように思う。東区役所のおかげであるが、地域も微力ながら応援させてもらっている。

東区では若者まちづくりリーダーズ事業を実施しているが、地域では赤ちゃんと高校生との交流会を実施し、妊婦体験などを体験してもらった。

また、県立大学のゼミで、大学生からいろんな発表を聞き、eスポーツを早速取り

入れて地域で実施した。若い世代の大学生が参加することにより、高齢者の目の輝きが違い、また、操作方法などについて丁寧に教えてくれた。世代間交流の大切さについて、経験を通して学ばせていただいた。

また、赤ちゃん訪問について、慎重にされている校区が多い。子育てネットワークを作っているのに、保育園、幼稚園のほか、青少協や自治会長が出席する会議の場でお話させてもらったが、東区は人気のエリアで住みやすいが、保育園が見つからないという意見があった。そういった課題について、何でも相談できるのが赤ちゃん訪問のよいところなので、そこを周知しながら進めてもらいたい。

#### ◎ 委員

自治会で活動している者として、違反ごみは永遠の課題であるが、啓発ポスターの制作はよい取組だと思う。ごみステーションを見かけるたびに、職業病のように考えている。地域で看板を作るが、書いた看板がごみのようになる。芸術性のあるものを掲げるのは非常によいと思うので、ぜひ続けていただきたい。

認知症サポーターについて数年前に研修を受けたが、個人情報保護の問題がつきまとい、他の事業の足を引っ張っていると思う。面会を行うことができないわけではないが、やりにくいところがある。住人を知っている家ならいいが、知らない家に行くときに、住人に面会したいと思うが、その話し合いをどこですればいいのか。個人情報保護法とのすり合わせをやっていただけはないか。

#### ● 事務局

ご指摘のとおり、個人情報保護の問題との関係で、マッチングの仕組みの構築という課題を抱えている。介護予防については、LINEを使った仕組みを作っているところだが、認知症サポートリーダーのマッチングの仕組みはアナログで、包括支援センターや本人からの情報提供などによりマッチングしている。この課題について、しっかりと検討を進めているところ。

#### ◎ 委員

地域包括ケアシステムについて、高校生を含めサポーターが増えてきていると思うが、実践経験はあるのか。

#### ● 事務局

サポーターの役割は身近な方に話していただくというところを含めて考えている。東区独自の事業だが、サポートリーダーの養成講座をしている。昨年度、グループホームでの傾聴や、養成講座のグループワークへの参加など、これまで5期実施しており、交流会もしている。イベント実施のときなど、サポートリーダーにも一緒

に取り組んでもらっている。9月が認知症月間だったので、東部公民館で周知啓発のコーナーを設けたが、これについてもサポートリーダーに協力してもらった。実際に個人のお宅にというのが難しく、見守りのニーズとマッチングについて検討しているところ。

◎ 委 員

散歩をしていると、健康そうに見えるけれども少し認知症が入っていると思われる方がたくさんおられる。熱中症で座り込んでおられる方に大丈夫かと声をかける際、認知症サポーターの知識があると声がかかりやすい。東区は熊本市で一番人口が多い区なので、今後要支援者や介護者が増えてくると思う。サポーターが研修で学んだことを実践して声を掛け、あの人が熱中症にならずに済んでよかったね、研修を受けてよかったねといった意見が増えてくると、今度声をかけてみようかなということにつながっていくのかなと思う。

◎ 委 員

私もサポーター研修を受けたが、高齢者の方の見守りに関しては非常に学びが多かった。これをどのようにつなげていくかを考えたとき、一人一人が地域を見守るところに行きつくのかなと思う。

母親が80歳、娘が50歳の二人暮らしで母が認知症という家庭があった。まずはドアを開けてもらうところが最初の一步。どうやって信頼関係を作るかということで、こんにちとは挨拶をすることから始めて、何年もかかったが、ドアを開けてもらうまでになった。

認知症がひどくなると、こどもから暴言を受けるようになったので、警察に相談しようかと提案したところ、通報して警察が来ると、ますますひどくなって生活ができなくなるため、言わないでほしいとお願いされた。

大きな声が聞こえたら玄関まで行き、声掛けすることを続けていたところ、暴言がなくなった。母親は包括支援センターの支援を受けるとともに、成年後見人もついた。娘は保健師の協力により病院を受診することができた。信頼関係の構築というのがいかに難しいかは分かっているが、そこをあきらめずに相手を信じながら関わり続けることで信頼してもらえた。

民生委員とは、認知症の方とどのように信頼関係を構築していけばよいかを話しながら支援を進めている。

◆ 会 長

せっかくなので、まだ発言していない方からもご意見をいただきたい。

◎ 委 員

まちづくり推進経費の予算は 1,900 万円だと思うが、予算の多い事業になると 400 万円を超えるものもある。その費用対効果が気になるところ。

それぞれの事業で、何人参加したのか、何人に効果があったのかなど、数字が全てではないが、一番分かりやすい指標になると思う。

◎ 委 員

安心安全まちづくりに関し、東区役所や託麻まちづくりセンターの職員に感謝している。託麻ブロックはちょこパト隊の活動を通じて、強い団結力がある。他の地区の防災協会も、託麻地区のような活動ができないかと頑張ってみるが、なかなか一つにまとまらない。明日の会議では、初めの一步ということで、ブロックごとに席を作り、様々な地域活動について話し合いをしたいと思う。

また、コロナの終息に伴い人流が増えたのに伴い、犯罪件数が増えている。悲しいことに、東署管内は熊本県で一番犯罪が発生しており、特に自転車の盗難は、ひと月で 46 件発生している。8 割はかぎが掛かっていない自転車であり、自転車に高校のステッカーが貼ってあるものについては、学校を通じて鍵をかけるよう指導してもらっている。

年末にかけてますます犯罪が発生すると思うが、防犯協会の方々を中心に防犯パトロールを頑張ってもらっているので、何とかかわずかながらも力を発揮していきたい。そのためにも、東区役所や各まちづくりセンターの方々とのつながりを深めていかなければならないと考えている。

◎ 委 員

地域の文化スポーツ応援事業について、主催者からの申出だけではなく、区の方からも来てもらえたらと思う。

また、市民の方が健康に過ごすことが一番だと思うが、健康づくりに関し、健康カルテや健康アプリというものがある。先ほど話に上がっていたが、超高齢化社会で認知症の高齢者が増えると考えられる。ささえりあの方が毎日対応しているかと思うが、自分がどのように過ごしたいかを考えることはなかなか難しいと思うので、若いうちから自分の将来を考えることができるメッセージノートなどの取組を考えてもらえるとありがたい。

◆ 会 長

委員からたくさんのご提案をいただいたので、事務局には取り組んでいただけたらと思う。私としては、ちょこパトの活動が広がってほしいと思っている。私自身、ちょこパトをやっているので、その T シャツがある。友人からの意見とし

て、職場へそのまま出勤できるような T シャツではないアイテムがあるとありがたいと聞いている。

それでは、以上で第 2 回まちづくり懇話会を終了する。